



地球温暖化にブレーキを!!

●問合せ先 生活環境課環境係☎72-2111内線152

今、世界各地で異常気象、海面上昇、生態系の破壊など、環境破壊が深刻化しています。これは私たちが電気や石油などのエネルギーを使い、二酸化炭素をたくさん排出することによる地球温暖化が大きな要因となっています。地球温暖化の進行にブレーキをかけるためには、一人ひとりが省エネに取り組むことが必要です。

市は、今後の市全体の省エネについての取組みの基本方針や、広く市民や事業所に普及させるための推進方策を検討し、地域特性に合った効果的で実現性の高い省エネ対策を積極的に推進することを目的とした「小都市地域省エネルギービジョン」を平成23年4月に策定しています。

みんなが省エネを「理解」し、「意識」を高め、「実践」するまちづくりの実現を目指して取り組んでいます。

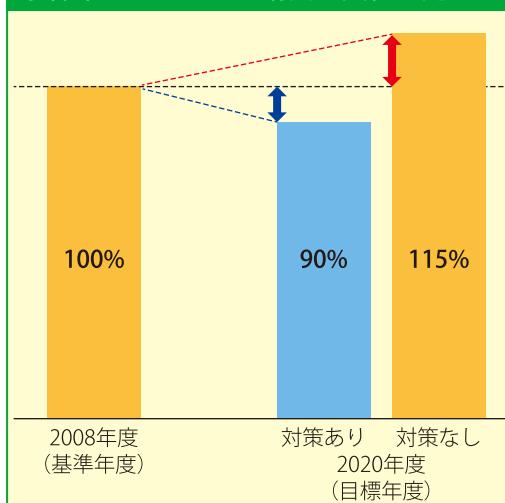
小都市の現状は

小都市では、年間におよそドラム缶40万本の原油にあたるエネルギーを消費し、約25万トンの二酸化炭素を排出しています。その内訳は、普段の生活や事業活動、自動車の利用によるエネルギー消費が大きな割合を占め、今後も人口増加に伴って、エネルギー消費量はますます増加すると考えられます。

2020年度にはエネルギー消費量が15%増加

今後何もしなければ、市全体のエネルギー消費量は2020年度に2008年度比で15%増えてしまうと考えられています。しかし、市や市民、事業所の皆さんと一緒に省エネに取り組んだ場合、2008年度と比べて10%のエネルギーを削減することができます。

小都市のエネルギー消費量変化の見込み



みんなで目指そう！

「2020年度のエネルギー消費量を2008年度比で10%削減」

エネルギー消費量マイナス10%を達成するために、市は**3つの省エネプロジェクト**に取り組んでいます。この目標を達成するためには、皆さんのご協力が必要です。

1 省エネは地球とお財布にやさしい！〈まちぐるみで省エネ意識の向上〉

省エネについて「理解」し、「意識」を高めるためのさまざまな具体策に、市民や事業所の皆さんと一緒にやって取り組みます

2 生活の中で感じよう！〈省エネ実践編〉

生活や事業活動の中で、省エネをまずは身近なできるところから。そして、それを周りに広めて、小都市全体で省エネ実践のまちづくりを進めます

3 市民のお手本を目指す！〈省エネ率先行動の継続と省エネ効果の共有〉

市は、すでに率先して省エネ行動に取り組んでいます。その効果や経験を市民や事業所の皆さんの参考にしていただけるように、努力します



市ではさまざまな取組みを行っています

市は、身边にできる緑のカーテン講習会など省エネに関する教室・講習会を開催しています。募集は広報紙やホームページで行っています。皆さんも参加してみませんか。

緑のカーテン講習会



校区公民館やすてらすで、講習会を開催しています。講習会では、参加者の知識度に応じて初級編や中級編を設け、参加者に種や苗をプレゼントしています。

また、毎年5月ごろにゴーヤの種と育成チラシの配布を行って、緑のカーテンの普及を進めています。

エコクッキング教室



年1回、やすてらす調理室で開催しています。料理だけでなく環境問題にも精通した講師を招き、豆腐やこんにゃく、おやき作りなどを通じて、ガスや水を節約する調理方法を学びます。毎回、老若男女問わず多くの参加があり、みんなで料理を楽しみながら環境問題について考えています。

エコドライブ講習会



2年に1回、「やすてらす」周辺の公道を利用して開催しています。参加者は、実際に車を運転して普段と講習後の運転の燃費を比較することで、どれくらい燃費が向上したのかを把握します。また、安全運転でゆとりが生まれるとともに、環境にやさしい運転を習得することができます。

環境にやさしい市役所を目指して！ 「エコ・オフィスおごおり」

「エコ・オフィスおごおり」とは、市が自主的に環境負荷の低減に取り組むための行動計画です。市も市内の1事業所として、職員自ら省エネに取り組んでいます。

緑のカーテンを設置



毎年、市役所などの公共施設17か所に緑のカーテンを設置しています。

緑のカーテンを設置することで、エアコンの使用電気量の削減を目指しています。

エコワットで電力調査



コンセントと電気器具の間に差し込んで消費電力や電気代、CO₂排出量を測定できるエコワットを使用し、電気の使用状況の調査を行っています。

職員全員で省エネ

- 空調は室温を冷房時は28℃以下、暖房時は19℃以上にならないように設定する
- 日中は自然光をできるだけ利用し、必要な箇所のみ照明を点けるほか、昼休みは照明を消す
- 長時間席を離れるときには電源を切るほか、帰宅する際にはOA機器プラグをコンセントから抜く

などの項目を設定し、職場の巡回を行い、省エネ活動の徹底を行っています。特に空調で電力を多く使用する夏と冬の間は、節電強化月間を設けています。



地球温暖化防止のために私たちにできることって？

福岡県から地球温暖化防止活動推進員を委嘱され、啓発活動を行っている小郡市在住の木下綏子さんにお話を伺いました。



一人ひとりの省エネの取組みが地球温暖化防止の大きな力に

地球温暖化は、私たちにとって将来の問題ではなく現在進行中の危機です。子どもから大人まで一人ひとりが取り組む小さな省エネの積み重ねが、防止の大きな力になります。「自分ひとりぐらい」「この程度なら」といった考え方や行動は危険です。自分だけでなく地域そして地球にかかわっていること、地球温暖化とともに地球のいたるところで異常現象が発生していることをしっかり理解しましょう。意識を高め、協力して、私たちの住む小郡市から地球温暖化防止の取組みの輪を広げていきましょう。

市は、木下さんをはじめ福岡県地球温暖化防止活動推進員の活動をサポートし、地球温暖化防止の啓発活動を行っています。

昨年度は、アンビシャスフェスタとのぞみが丘小学校地域文化祭でクイズ形式の環境イベントを行いました。多くの来場者に地球温暖化と省エネについて楽しみながら学んでもらうことができました。



家庭ができる 温暖化対策

- 1 冷房の温度を1°C高く、暖房の温度を1°C低く設定
(年間約33kgのCO₂の削減、約1,800円の節約)
- 2 週2日往復8kmの車の運転をやめる
(年間約184kgのCO₂の削減、約9,200円の節約)
- 3 1日5分間のアイドリングストップを行う
(年間約39kgのCO₂の削減、約1,900円の節約)
- 4 待機電力を50%削減する
(年間約60kgのCO₂の削減、約3,400円の節約)
- 5 シャワーを1日1分家族全員が減らす
(年間約69kgのCO₂の削減、約7,100円の節約)
- 6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
(年間約7kgのCO₂の削減、約4,200円の節約)
- 7 ジャーの保温を止める
(年間約34kgのCO₂の削減、約1,900円の節約)
- 8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす
(年間約238kgのCO₂の削減、約10,400円の節約)
- 9 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ
(年間約58kgのCO₂の削減)
- 10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす
(年間約14kgのCO₂の削減、約800円の節約)

ふくおかエコライフ応援サイトに省エネに役立つ情報を掲載しているよ。エコアドバイスなどのエコ情報や簡単な診断制度を利用して、上手にエコライフを送ろう。



出典：(財)日本環境協会 全国地球温暖化防止活動推進センター
「身近な地球温暖化対策」